

日本アカデミック・ディテリング研究会  
第1回学術大会プログラム 9月11日(日)

10:00~10:30

大会長講演

アカデミック・ディテリングが医薬品情報提供を、変える!

【座長】 宮崎 美子(副代表理事・戸田中央総合病院)

【講師】 小茂田 昌代(代表理事・千葉西総合病院)

10:45~11:45

特別講演

ゲノム情報活用の現状と課題

【座長】 小茂田 昌代(代表理事・千葉西総合病院)

【講師】 宮崎 智(東京理科大学薬学部長)

12:00~13:00

システム部会企画 教育講演 1

臨床的決断に役立つ! 医薬品情報データベースを活用する米国の臨床薬剤  
業務とは

【座長】 野村 浩子(システム部会長・徳洲会大阪本部)

【講師】 小崎 彩(University of California, Irvine School of Pharmacy and Pharmaceutical  
Sciences)

12:00~13:00

臨床エビデンス部会企画 教育講演 2

エビデンスを踏まえたアカデミック・ディテリングに期待すること

【座長】 佐藤 淳也(臨床エビデンス部会長・国際医療福祉大学病院・国際医療福祉大学  
薬学部)

【講師】 関根 郁夫(筑波大学医学医療系臨床腫瘍学)

13:15~15:15

## 資材開発部会企画 シンポジウム 1

### アカデミック・ディテリングの臨床実践を資材開発に活かそう

【オーガナイザー】 出雲貴文 (資材開発部会長・千葉西総合病院)

【座長】 永田将司(東京医科歯科大学病院)

#### 1-1 がん化学療法中の患者への便秘治療薬アカデミック・ディテリングの活用

木村 敦 (千葉西総合病院)

#### 1-2 グループ病院におけるフォーミュラリー導入の苦悩と発展

吾妻 隼斗<sup>1</sup> 安藤 正純<sup>2</sup> 金井 紀仁<sup>2</sup> 佐藤 光<sup>3</sup> 宮本 拓也<sup>4</sup> 澤田 雄太<sup>5</sup> 奈良部 修弘<sup>6</sup>

永瀬 真理子<sup>7</sup> 陣内 智美<sup>1</sup> 下館 桃子<sup>8</sup> 宮崎 美子<sup>4</sup> 鈴木 智<sup>9</sup> 濃沼政美<sup>10</sup>

(<sup>1</sup>牧野リハビリテーション病院 薬剤科 <sup>2</sup>新座病院 薬剤科 <sup>3</sup>東所沢病院 薬剤科

<sup>4</sup>戸田中央総合病院 薬剤科 <sup>5</sup>松井病院 薬剤科 <sup>6</sup>TMG あさか医療センター 薬剤科

<sup>7</sup>西東京中央総合病院 薬剤科 <sup>8</sup>佐々総合病院 薬剤科 <sup>9</sup>TMG 本部 薬剤部門

<sup>10</sup>帝京平成大学薬学部)

#### 1-3 薬学部生を対象にしたアカデミック・ディテリングの実施研修

濱野 裕章<sup>1</sup> 牛尾 聡一郎<sup>1</sup> 松本 准<sup>2</sup> 武田 達明<sup>2</sup> 小山 敏広<sup>3</sup> 久保和子<sup>1</sup>

猪田宏美<sup>1</sup> 西原茂樹<sup>1</sup> 鍛冶園誠<sup>1</sup> 村川公央<sup>1</sup> 座間味義人<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>岡山大学病院 薬剤部 <sup>2</sup>岡山大学学術研究院医歯薬学域 疾患薬理制御科学分野

<sup>3</sup>岡山大学 学術研究院医歯薬学域 健康情報科学分野)

13:15~15:15

## 基礎薬学部会企画 シンポジウム 2

### 基礎薬学の臨床活用に向けた発信と教育

【オーガナイザー】 清水 忠(基礎薬学部会部会長・兵庫医療大学薬学部)

【座長】 西川 元也(東京理科大学薬学部) 斎藤 顕宜(東京理科大学薬学部)

#### 2-1 アカデミック・ディテリングと基礎薬学・化学的思考について考える: 病院薬剤師の視点から

田中 怜 (静岡がんセンター, 東京理科大学 薬学部)

#### 2-2 薬物動態学の視点をどのようにアカデミック・ディテリングへ活かせるか

宮嶋 篤志 (明治薬科大学薬学部)

#### 2-3 化学的視点を持った薬学系研究者として参画するアカデミック・ディテリング

黒原 崇 (国立医薬品食品衛生研究所)

2-4 薬局薬剤師が化学的視点を発信する意義

田代 祐也 (宮町薬局)

2-5 基礎薬学とエビデンスの統合型教育~知識の獲得で終わらない、臨床応用が可能な教育手法を考える~

上田 昌宏 (摂南大学薬学部)

15:30~17:30

### 大会長企画 シンポジウム 3

#### 先駆者が描く薬剤師の未来

【オーガナイザー/座長】 小茂田 昌代(代表理事・千葉西総合病院)

3-1 薬剤師が担うアカデミック・ディテールリングの意義と役割 -欧米での経緯と状況から考える-

山本 美智子 (熊本大学大学院生命科学研究部)

3-2 薬剤師の未来像、今後の薬剤師のあるべき姿

平田 純生 (I&H 株式会社学術研修部)

3-3 褥瘡・難治性皮膚創傷におけるフルタメソッドによる脅威の改善  
~薬剤師視点による基剤ファーストに基づいた外用薬治療の醍醐味~

古田 勝経 (小林記念病院)

3-4 医師から見たアカデミック・ディテールリング

齊藤 光江 (順天堂大学医学部乳腺腫瘍学)

15:30~17:30

### 広報部会企画 シンポジウム 4

#### アカデミック・ディテールリング養成プログラムの現状と今後

【オーガナイザー】 宮崎 美子(広報部会長・戸田中央総合病院)

【座長】 稲葉 健二郎 (総合相模更生病院)

4-1 認定プログラム A コースの現状と今後の展望

清水 忠(基礎薬学部会部会長・兵庫医療大学薬学部)

4-2 認定プログラム B コースの現状と今後の展望

出雲 貴文 (資材開発部会長・千葉西総合病院)

4-3 認定プログラム C コースの現状と今後の展望

宮崎 美子(広報部会長・戸田中央総合病院)

#### 4-4 認定プログラム D コースの現状と今後の展望

佐藤 淳也 (臨床エビデンス部会長・国際医療福祉大学病院)

#### 4-5 エビデンス創出に向けた研究の基礎

飯嶋 久志 (千葉県薬剤師会 薬事情報センター)

17:40~18:40

#### 一般発表

【座長】 黒原 崇 (国立医薬品食品衛生研究所)

田代 祐也 (宮町薬局)

#### 1. Huisgen 環化反応を用いたクマリン骨格構築法の開発

関根 美夢 石田 寛明 伊藤 俊将 (昭和薬科大学大学院)

#### 2. 歪を持たないアルキンでも穏和な条件下メタルフリーで Huisgen 環化反応が進行する

京谷 竜宏<sup>1</sup> 石田 寛明<sup>1</sup> 齋藤 俊昭<sup>2</sup> 伊藤 俊将<sup>1</sup>  
(昭和薬科大学大学院<sup>1</sup> 日本薬大<sup>2</sup>)

#### 3. シアノピリジンと生体分子の共有結合性に関する研究

矢野 哲也 (昭和薬科大学大学院)

#### 4. 米国ワシントン州の一病院における CDTM 事例紹介~バンコマイシン静注時の AUC モニタリングに関する薬物療法プロトコール~

星野 静 Megumi Howard(ヘルスケアテクノロジーズ株式会社、  
元スウェーデン医療センター)

#### 5. 花粉症に対する第二世代抗ヒスタミン薬の選択におけるアカデミック・ディテリング (AD)の実践

星野 静 (ヘルスケアテクノロジーズ株式会社)